

発行：安全な生活を願う市民の集い (E-mail : chori_msm@ybb.ne.jp)

《一人ひとりの意思と努力によって、原発のない安全な社会を実現させよう！》

『さようなら原発 1000 万署名』は、2012/07/11 集計 +オンライン署名増加分 = **7846141** 人分になっています。1000 万筆達成まで続けられます。以前断られた人にも、再度呼び掛けてみましょう。

7.29 脱原発・国会大包围

日時: 7月29日(日) / 集会開始: 15:30 / デモ出発: 16:30 国会包围: 19:00(集会・キャンドル・チェーン)

集合場所: 日比谷公園中幸門(日比谷公会堂裏) / 主催: 首都圏反原発連合 <info@coalitionagainstnukes.jp>

協力: さようなら原発 1000 万人アクション・原発をなくす全国連絡会・ザ・アトミックカフェ・脱原発世界会議 他

「パブリックコメント」を 提出しよう！

政府は「エネルギー・環境に関する 3 つの選択肢」を示して、原発についての国民の意見を募集しています。【原発依存度を、2030 年までに①ゼロにする②15%にする③20~25%にする】の中から、脱原発を目指す私達は①を選んで、HP入力、FAX送信、郵送のいずれかの方法で提出しましょう。①の提出が一人でも多いことが重要です。提出しなければ、政府案に賛成と見なされてしまいます。詳細は【**内閣府 原発パブリックコメント**】で検索して下さい。プリントアウトして、ネット環境にない隣人達にも広めましょう。

(締め切りは、8月12日午後6時です。)

それでも、ここで私達は、澄み渡った真夏の青空に向かって、声を上げずにはいられない！原発をやめて！再稼働を停めて！経済よりも生命が大事！福島を忘れるな！本当は電気は足りている！国民を侮辱するな！子供を守れ！未来を守れ！暮らしを守れ！田畑を、海を、空を守れ！17万人の叫びが何故、政府には届かないのでしょうか？

7月16日(月・休日)。福島原発事故の遅々たる対策と大飯原発再稼働への怒り、やり切れない思いを抱えて全国から黙々と集った人、人、人の群れ。広大な公園が「静かな大混雑」となりました。昨年9月の同じ主催者による6万人集会に比して、みんな疲れている…。そして寡黙になっていました。この1年余、政府の様々な虚偽と不実を翻弄されてきた国民の疲れです。

猛暑の代々木公園に
17万人の怒り！

白い風船

毎週金曜日、「再稼働撤回を求める首相官邸前デモ」では、官邸前と国会議事堂前で白い風船が配られています。「非暴力・不服従」を表す白い風船は夜闇に映えて、放射能の心配がない安全な社会を求める市民の願いを静かに訴えているように見えます。この集会の象徴になりました。田中康夫さんのアイデアとのこと。

集会を空から配信・記録

東京都内の反原発デモでは、上空に何機ものヘリコプターを見かけます。そのうちの1機は再稼働撤回を求める市民のカンパで飛んでいます。6月27日、広瀬隆さんとフリージャーナリスト達が「正しい報道ヘリの会」を立ち上げました。メールでカンパを募ったところ、個人や企業から1週間で約860万円集まり、今もカンパは続いています。ヘリの費用は1回約105万円。会では、カンパの残りを「福島原発告訴団」に寄付しています。今後も集会毎にヘリでの空撮を続ける予定です。映像はインターネットで世界中にライブ中継された後、記録として保存されます。ユーチューブでご覧下さい。カンパの振り込み先：【城南信用金庫 営業部本店・普通預金口座・822068・タダシイホウドウヘリノカイ・(名義)正しい報道ヘリの会】

8.5 講演会 『1号機は津波前に壊れていた』

一国会事故調委員・調査員が語る福島原発事故の真相一

日時: 8月5日(日)・開場 18:00・開演 18:15 / 会場: 文京区民センター・3A会議室 (地下鉄「大江戸線」・春日駅A2出口より徒歩1分) / **講師: 伊東良徳さん** (国会事故調調査員・弁護士)・

田中三彦さん (国会事故調委員・科学ジャーナリスト) / **参加費: 1,000円**

主催: 「終焉に向かう原子力」実行委員会 / 問い合わせ: 瓦&Fax・03-3739-1368、携帯・090-9137-2437

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。

毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。